

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

香川県

行 事 名 称	重要文化財金刀比羅宮旭社文化財防火訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 2 6 日 1 4 時～ 1 5 時
実 施 場 所	香川県琴平町 8 9 2—1 重要文化財金刀比羅宮旭社前
主 催 者	宗教法人 金刀比羅宮

■実施内容

訓練の想定

金刀比羅宮旭社にて火災発生に伴う消火訓練及び負傷者救助訓練。

訓練の内容

仲多度南部消防署、琴平町消防団、金刀比羅宮自衛消防隊による火災を想定した放水訓練を実施。要救助者搬送訓練（仲多度南部消防署）。

参加者及び役割分担

火災発見者及び通報者：金刀比羅宮職員

消火活動：仲多度南部消防署（10 名程）・琴平町消防団（20 名以上）・金刀比羅宮自衛消防隊（10 名以上）

要救助者対応：仲多度南部消防署

現場立会：県（1 名）・町教育委員会文化財主管課（5 名程）

講評：金刀比羅宮、仲多度南部消防署、町教育長

特に工夫した点

大規模修理事業が控えている本物件に対する訓練を実施することで、初動確認、送水経路等の確認を関係機関で共有することができた。

問題点・課題

山下に各車待機していた状況で、通報から 10 分程度で放水体制がおおよそ整った。

実際の火災では、到着までに更に時間を要するため、自衛消防隊による初期消火が重要となる。

自衛消防隊が用いる消防設備も設置から一定期間が経過しているため、設備機器等の更新が必要となっている。

その他

参拝者も訓練の様子を見学されていた。地元新聞社等の現地取材があり、一般の方への文化財防火デーの周知等にも繋がった。

訓練風景



左：消火体制が整った状況



右：建物脇にて放水訓練を実施している状況